見守りめぐねっと
ねっとわーく通信
発行：目黒区
第13号
平成28年夏号
（年2回発行）

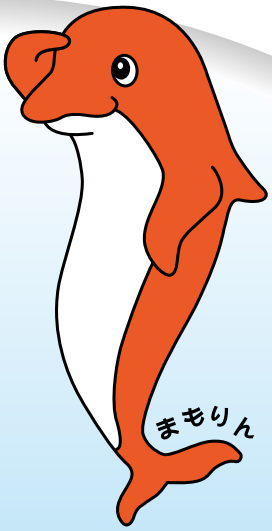
対象者拡大に伴い、新しい協力団体が増えました

新しい協力団体

- 自立支援センター目黒寮
- いきいき福祉ネットワーク
- 手をつなぐ親の会
- 椎の木の会
- たんぽぽの会
- フードコミニュティ目黒
- 萠友会
- 障害児者の生活を向上させる会
- 聴覚障害者協会
- みきの会
- 重複障害者家族会ニッチの会
- たまごの会

だけじゃない

高齢者の見守り はじまっています



目黒区見守りネットワーク
キャラクター

新しくなった

「見守りめぐねっと」とは…

平成28年1月より「高齢者見守りネットワーク」を「見守りネットワーク（見守りめぐねっと）」に改め見守りの対象を拡大しました。

地域の皆さんが、何らかの支援を必要としている人の「ちょっと気がかり」なことに気づいたときに**包括支援センター**へ連絡いただくことにより、ゆるやかに見守っていく取り組みです。

多くのかたに関心を持っていただき、いくつもの「見守りの輪」を作っていきます。

各地区の包括支援センターが中心となって、PRキャラクターまもりんの活躍の場を増やしていきます。ご協力をお願いします。

ー支え合いの心で、すべての人に安心なまちをー

信託銀行さん

お客さまの年齢層が60代～80代の方が多いため、目黒支店では、老年学を学んだ「ウェルビーイング・コンシェルジュ」の資格を持つ社員が、お客さまをお迎えしています。住まいや介護予防、介護保険制度のことなど、お客さまが知りたい情報をお伝えしております。必要時には地域包括支援センターをご案内することもあります。昨年度より、「見守りめぐねっと」に参加し、今後もご高齢のお客さまが住み慣れた街で安心して暮らし続けられるよう主体的に役割を果たしていきたいと考えています。

三井住友信託銀行　目黒支店（品川区上大崎２丁目）

接骨院さん

開業してから30年、学生から高齢者まで様々な年代の方が通院しています。会話を通してコミュニケーションを取るようにしており、「食が細くなってきた」「同じ話を繰り返す」など気がかりなことは、当院で聞くだけでなくかかりつけ医や包括支援センター等へも相談するように伝えています。これまでの経験を生かして、これからも見守りめぐねっとの協力事業者としてお役に立てればと思います。

岡田整骨院（目黒本町３丁目）

コンビニさん

セブン-イレブンでは、様々な商品を配達できます。買い物に行かれないお年寄りや子育て中のママ、けがや病気の方に喜ばれています。

よく来店されるお客様には声をかけ自然と良い関係ができています。

認知症の奥さんを介護しているご主人が「妻がいなくなった」と相談に来たときには、一緒に交番に相談に行きました。（その後無事に帰宅されました）

いずれ自分たちも年を取るので、今お手伝いできることを「目配り、気配り」をモットーに取り組んでいます。

セブン-イレブン目黒中町１丁目店（中町１丁目）

今回は、各包括支援センターの職員が、協力事業者のみなさんに、見守りめぐねっとの日々の活動をお聞きしました。

見守りめぐねっとカードは、各包括支援センターで配布しています

薬局さん

平成6年に、『地域の保健室代わりになれば』という思いで、東山に薬局をオープンしました。あなたのための（フォーユー）薬局として、地域密着型の薬局を目指しています。地域の人々の駆け込み寺のような存在で、お薬の事だけでなく、介護の事や人生相談まで、様々な相談に気さくにのっています。

見守りめぐねっとの協力事業者として、いろいろな方にお声かけをし、地域の方々を温かく見守っています。

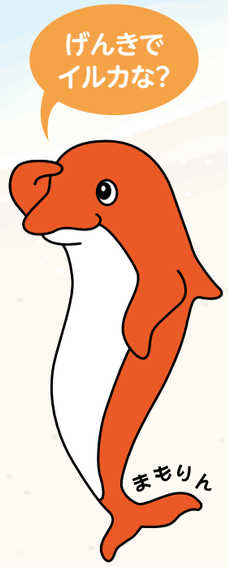
フォーユー薬局（東山３ 丁目）

まもりんステッカーは、各包括支援センターで配付しています

新聞屋さん

お客様は高齢者が7割ほど。配達や集金時に定期的にご本人と顔を合わせる為、一人暮らしの不安を抱える方や、約束を忘れたり同じ話を繰り返したりなど認知症が疑われる方と接する機会も多くあります。中には「人の出入りが無く心配なので日常の見守りをしてほしい」という理由で新聞を購読している方もいます。郵便受けに新聞が溜まっているなど、「いつもと違うな」という気づきを今後も大切にして、見守りのお手伝いをさせて頂きたいと思います。

YC都立大前自由が丘（柿の木坂１丁目）



見守りめぐねっと・この1年の取組み

見守りの対象を拡大

平成28年１月より「高齢者見守りネットワーク」を「見守りネットワーク」と改め、見守りの対象を高齢者、子ども、障害者など何らかの支援を必要としているすべての区民に拡大しました。
様々な協力団体も増え、今後も各包括支援センターと顔の見えるネットワークづくりを進めていきます。

見守りサポーター養成講座を開催

高齢者等を地域の皆で見守って行くことを趣旨とした事業が26年度からスタートしています。27年度は２回開催し、10月26日に東邦大学の岸恵美子先生、11月25日にさわやか福祉財団の清水肇子先生を招いて開催しました。計100名の参加があり、事例を交えながらの講演会で参加された皆様には大変好評でした。

熱中症予防活動

ひとり暮らしの高齢者などが熱中症にならないように、民生委員の方が約6千人のご自宅を訪問して、首冷却ベルトの配布をしました。また、「目黒のSUNまつり」や各包括支援センターでまもりんうちわを配布して熱中症の予防の呼びかけを行いました。

協力機関連携会議の開催

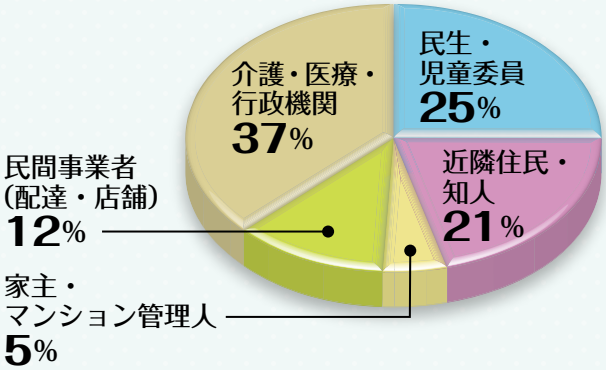
7月15日は、熱中症対策、高齢者の救急搬送等様々な対応について等、12月９日は、行方不明者・認知症高齢者等の対応について、それぞれ協力機関の職員と情報交換を行い連携を深めました。

目黒区見守りネットワーク連絡会の開催

平成28年１月18日、総合庁舎大会議室で、第７回目黒区見守りネットワーク連絡会を開催しました。
見守りめぐねっとの協力団体・協力機関・協力事業所や包括支援センター職員及び区関係機関などが出席し、熱中症予防への取り組み、地域連携コーディネーターの活動など、1年間の取り組み状況の報告・今後の取り組みについて意見交換を行いました。

平成27年度の通報・相談件数504件

高齢者等の見守りや安否確認について各包括支援センターに寄せられた通報や相談は、年間で504件でした。
通報・相談者の内訳は右グラフのとおりで、介護・医療・行政機関で37％を占めています。昨年度は民間事業者は８％でしたが、今回は12％と増えております。ご協力ありがとうございます。



安心してご相談ください

北部包括支援センター ▶	☎5428-6891	fax3496-5215
東部包括支援センター ▶	☎5724-8030	fax3715-1076
中央包括支援センター ▶	☎5724-8066	fax5722-9803
南部包括支援センター ▶	☎5724-8033	fax3719-2031
西部包括支援センター ▶	☎5701-7244	fax3723-3432

まもりん今日このごろ

区のホームページで、まもりんの日頃の活動をお知らせしています。

目黒区まもりん今日このごろ　検索

【編集】目黒区健康福祉部地域ケア推進課　TEL：5722-9385　FAX：5722-9062